

しょう 「障がい」のある人



ひと についてもっと知ろう

しょう 「障がい」って?

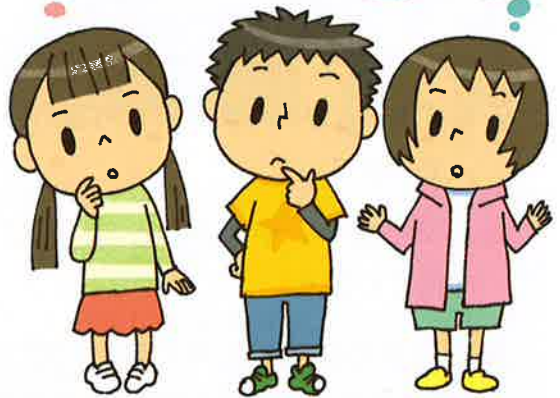
しょう 「障がい」とは、何らかの原因で体や心のどこかがはたらかないために、日常生活や社会生活で、まわりからの理解や協力が必要な状態です。

生まれたときから障がいのある人もいれば、病気や事故などによって障がいをうける人もいます。障がいは、だれにとっても身近なことです。

まずは、どんな障がいがあるかを知りましょう。そして、まわりの大人の手助けが、わたしたちにどんな手助けができるのかを考えてみましょう。

障がいて
なんだらう?

わたしたちに
できることは?



いっしょにいるときは?

しょう 自然な気持ちで助け合う

しょう 障がいのあるなしにかかわらず、困っている人を助けるのは当然のことです。「おたがいさま」という自然な気持ちで助け合いましょう。

ひとり 一人ひとりのちがいを理解する

しょう 障がいには、さまざまな種類や症状のちがいがあります。障がいのある人の個性や特ちょうも一人ひとりちがいます。

あいて 相手の立場になって考える

しんせつ 親切のつもりが、かえってめいわくなこともあります。障がいのある人が、どんなことをしてほしいかをきちんと聞いてから手助けしましょう。

とくべつ 特別あつかいをしない

しょう 障がいのある人を特別な目で見るのはやめましょう。同情するのではなく、その人のためになるお手伝いをしましょう。